

神戸5 配水管末端における残留塩素濃度の遠隔監視

求める技術：②

1 課題を抱える業務の内容

配水区域の末端は水の滞留が発生しやすいことから、水質自動監視装置によるリアルタイム監視に加え、市内約600箇所のドレン等において、職員が巡回により残留塩素濃度の測定を行っています。また、低残塩地区については、常時放水による水質維持を図っています。

2 課題の詳細

残留塩素濃度が低下しやすい時期を重点的に測定していますが、箇所数が多く移動に時間がかかることから、効率化を図る必要があります。また、効率化により測定頻度を増やすことができれば、測定データを活用し、塩素注入率や常時放水箇所の最適化を図ることができると考えています。

3 こんな技術を求めています！

- 既存ドレン等に設置可能な小型の長寿命バッテリー型測定装置で、かつ無線通信でクラウドへのデータ伝送が可能な技術

4 技術の導入により代替が期待される業務

残留塩素測定業務

5 事業規模・業務量

測定箇所：約600箇所